



震災後、無心に咲くつつじ

# 龍谷院 たより

発行所 龍谷院  
茨城県東茨城郡  
城里町下阿野沢1509  
TEL 029-289-3108  
FAX 029-289-3025  
編集人 蘭部 義光

## 報恩のお盆供養

住職 蘭部 義光

残暑お見舞い申し上げます。

去る三月十一日に東日本大震災が発生しました。

津波で多くの生命と財産がなくなりました。被災された皆様には心よりお見舞い申し上げます。

当時、私は、子供と二人で青森県八戸駅にてまさに新幹線に乗る寸前でこの地震に遭遇いたしました。改めて地震の怖さを感じました。出先での震災は、「これからどうしたら家路にたどり着けるか」という不安でした。前泊をしたホテルにお願いし、電気もない水道も出ないホテルの部屋で、三日間足止めを余儀な

くされました。何とか飛行機の予約がとれ、青森を脱出することができました。自分の家に着いたのが震災から四日目でした。

幸いにして龍谷院は無事でした。屋根瓦も落ちることなく、灯籠も壊れず。まさに奇跡がおきた思いでした。山の岩盤の強さに助けられたような思いがします。

さて八月は毎年の行事であるお盆があります。八月九日は龍谷院の施餓鬼法要が行われました。いつも梅雨が明けの頃になりますと施餓鬼の準備が始まります。施餓鬼（施食会）はご先祖様の魂をお迎

えし、ご供養して同時に私の日々の生活をご報告するのです。

お盆はサンスクリット語で「ウルランバーナ」が孟蘭盆となり、親しみをこめて「お」をつけて「お盆」となったもので「逆さまづりの苦しみをも救う」という意味があります。

お釈迦様の弟子である目連尊者が亡くなった母の救いをお釈迦様にすがり、七月十五日に心のこもったご馳走を作って供養し、その功德によって母の苦悩を救うことが出来たというものです。

日本人の宗教の原点である「先祖供養」の信仰と、「孟蘭盆経」の教えが相まって今日の盆行事が定着しています。

人間の命の祭典と見えない

ない世界である先祖や亡き人たちと親しく過ごすためのすばらしい時間であることは間違ひありません。

ご先祖さまのお墓参りにおじいさんからお孫さんまで家族全員が集まって出かける姿は何よりもさわやかな感じがいたします。ご供養すること、もちろん大切なことですが、

現世にある我々はお盆を現実にかさなければなりません。根である先祖に感謝の心をささげ、その恩に報いる気持ちを具体的に表したいものです。

それが、茄子やきゅうりで乗り物をつくり楽に道中を移動していただき、またゴザを敷き、ご先祖さまに涼しく過ごしていただくということす。

寺院を訪ねて (三) 笠間市 円通寺

当山は山号を慈眼山、寺号を円通寺と称し、室町時代、永徳二年(一三八二年)に宍戸藩七代城主氏朝により建立されたと伝えられている。

明治十八年に本堂を消失しており、合わせて資料等も消失したため、創建当時の宗派については分からない。



円通寺全景

宍戸城主十二代の政治家の代、永正十四年(一五一九年)に現城里町・龍谷院四世住職大圓智大和尚により曹洞宗に改宗され、爾来五百有余年に亘り法灯



本尊「釈迦牟尼仏」

を維持し、現在三十二代の住職を数える。

当山は先代住職の代に、本堂建築・客殿庫院の建築、更に境内整備の事業により昔の様相とは一変している。

当山は、山号寺号から見ても、創建当時から観音信仰の寺として親しまれている。

最近、相当痛んでいた観世音菩薩像を修復したところ、十一面観音像と判明し、又年代も室町時代の作と分かり、恐らくは円通寺の本尊ではないかと思われる。

機会がありましたらお参りください。

円通寺住職 村上 雅豊

# 祠堂牌の受付開始について

祠堂牌の受付を始めたのが昭和五十四年当時本堂の新築工事が完了のときでした。先代の住職の発案によるものであります。

爾来、二十数年間は当時受付を申し出た方のみで、その後受付は中止のような状態になってしまいました。

平成二十一年の晋山式の時、新しい位牌堂が完成しましたので今までの祠堂牌をすべて位牌堂に移動して祀りました。

平成二十三年より新たに祠堂牌の受付を始めます。まだお申込みをされていない方はこの機会にお申込ください。

本来は、龍谷院檀信徒のすべてのお位牌が祀られなければならないのですが、まずは希望者の方のお位牌を祀りたいと思います。

**従来の祠堂牌は七万円**  
(三十年前が五万円)



また、右記の位牌は「特別永代供養牌」と言います。

家族が「ご先祖の位牌」を守る事が不可能になった場合、仏壇の位牌をお預かりするものです。

只今、永代供養塔を計画中です。完成の折はお知らせいたします。

申込先

龍谷院

〇二九一八八九一三二〇八

**永代供養牌 十五万円**  
(但し、お骨の預かりは別となります)



龍谷院の沿革④

大山義成の位牌

院内に、龍谷院の開基である大山第五代城主因幡守義成の位牌があります。法名は「喜山常公居士」です。

義成はこれまで紹介してきたように、神仏を崇敬し、神社寺院を大切にし、いろいろ寄進をしています。特に龍谷院の開基として、堂宇を建立し、寺領を寄進し、自らの菩提寺とするなど、龍谷院を崇敬しました。

義成の時代、佐竹宗家では佐竹の乱（山入一揆）の最も激しい時期でした。これは、延徳二



大山義成の位牌

義成の位牌は、普段は本堂奥の棚に安置されていますが、毎年施餓鬼会の日には、他の位牌とともに施餓鬼棚に並べられます。

(杉山記)

年（一四九〇）、佐竹分家の山入氏が、宗家当主の佐竹義舜を太田城から追放し、太田城を乗っ取ったできごとです。義舜の母親は大山義道の娘でしたので、義舜は祖父の義道を頼って大山城にのがれてきたのです。

このときの大山城主が義道の子の義成だったのです。つまり、義成は義舜の叔父でした。さらに義成の子常義は義舜とは従兄弟同士という関係でした。親子三代の庇護を受け、義舜は大山城や孫根城に十三年間潜伏していました。のち、大山氏や石塚氏、小場氏、さらに岩城氏などの助力を得、ついに山入氏を亡ぼし、義舜は太田城に戻り、佐竹氏中興の基を築いたのです。

放射能と

安全対策

園部 峯元

少林サイコソマテックサイエンス

去る三月十一日発生した東日本大震災による津波で、東電福島第一原子力発電所が被災し、原子炉建屋が爆発損傷するといふ大きな事故が発生しました。

周辺は放射性物質で汚染され、住民は避難を余儀なくされています。健康への影響も心配されます。深刻な事態です。

目に見えない放射線から、私たちの安全をどう守るかが、いま一番の課題かと思えます。詳しいことは専門書を参照いただくとして放射線による人体への影響には、レントゲン撮影などによる外部からの被ばくと、呼吸や口から放射性物質を取り込んだことによる内部被ばくがあります。外部被ばくは自然界から年間一ミリシーベルト程度

は受けており、空間線量率が現状それほど高くない地域（茨城）では大きな心配はないものと考えられます。問題は内部被ばくで、放射性物質を体内に取り込むと筋肉や骨に付着して、なかなか体外に排泄されない物があります。長期に亘り人体の内部組織を照射し続けることにより、白血病やガンなどの病気を引き起す危険性があるといわれています。

そこで私たち個々人が今できることは、放射能を含んでいと思われる雨にはぬれないこと（ぬれた場合はシャワー等で洗い流す）国や自治体が検査をして、安全基準を満たしている食物（野菜、果実、肉魚類、その他）を摂取することとして、未検査の物や汚染されている可能性のある地域で収穫された物は極力避けることではないかと考えられます。（紙面の都合で数値的なことは省略しました。）

# 龍谷院の行事

## 一、新年会

一月二十二日、総代・世話  
人出席のもと、平成二十三年  
度の新年会を行いました。



## 二、節分会

毎年二月三日は節分会が行  
われています。この節分会も  
四十年以上の歴史があります。  
今では伝統行事となりました。  
今年も老若男女が集い、家



内安全など、祈願いたしました。  
来年も多くの信心の皆様が参  
加されますことを願います。

## 三、環境美化の奉仕活動

平成二十三年度から始まっ  
た環境美化の奉仕活動が加藤  
盛一総代長のもとで二回に亘り、  
行われました。大勢の世話人  
さまに参加を頂き、五月は草  
刈作業を行いました。特にア  
ジサイの根元の草刈でしたが  
その他の多くの面積を刈って

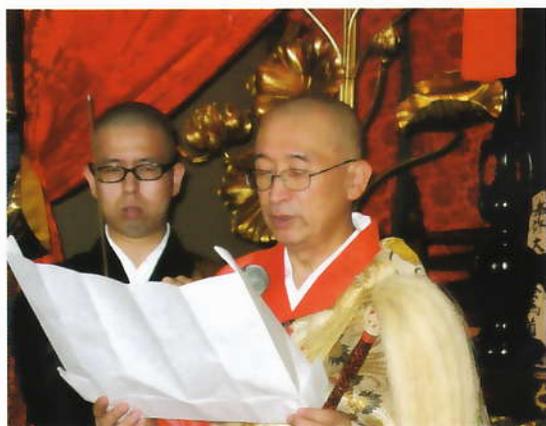


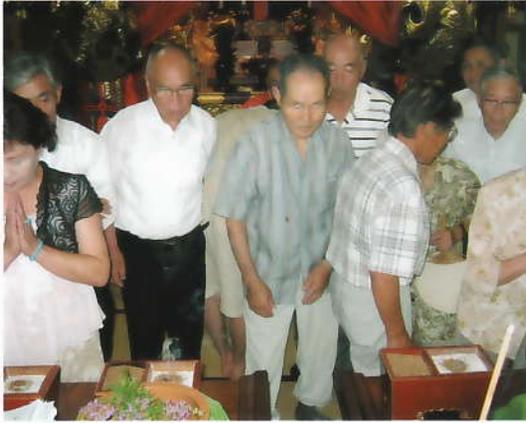
いただき、大変きれいになり  
ました。

## 四、施食会

八月九日 毎年盆供養法要「施  
餓鬼会」が行われます。今年  
も近隣のご寺院の助法をお願  
いして賑やかに、かつ厳粛に  
修行いたしました。

第二回目はアジサイの花を  
摘む作業でした。暑い中を朝  
早くからお手伝いを頂き、誠  
に感謝いたします。  
皆さんの一生懸命に作業す  
る姿に本当に頭の下がる思い  
でした。  
来年のアジサイは、たくさ  
んの花を付けることと思います。





新益供養のお施主さまをはじめ、総代さま、お世話人さま近所の皆様の参加がありました。

### 感謝録

水戸市の沼生様がご主人の菩提供養の為「施餓鬼棚」一基をご寄付なされました。

こころより感謝申し上げます。末永く使用させていただきます。

この施餓鬼棚は簡単に独りでも組み立てができるものです。



### 第5回 龍谷院チャリティーゴルフ大会開催 — 参加者募集中 —

開催日 平成23年10月20日(木)

場所 桂ヶ丘カントリークラブ

参加費 3,000円

※プレー費は5,000円(昼食含む) ※スタート8:42(IN,OUT)  
※締切り10月10日(月) ※豪華賞品の用意あり  
※ゴルフ場が変更になる場合もありますのでご了承下さい。

### 開山忌 並びに先祖供養会

平成23年11月1日(火)

午前10時 開山忌  
午前10時半 法話  
午前11時半 先祖供養  
終了 昼食

### 『編集後記』

東日本大震災で、多くの家々が被害に遭った中、当院は無事であったことが幸運でした。

総代と世話人の方々により、環境美化の奉仕作業が本年二回行われ、来院者を気持ちよく迎えることができました。ご苦勞様でした。

寺院を訪ねては、今回円通寺で、ご住職様よりご寄稿いただきました。ありがとうございます。一度訪ねてみたいと思います。

本堂に安置されていた檀家の祠堂牌は、位牌堂に移されました。新たに祠堂牌をお願いする方を募集しております。希望の方は、当院まで申し込んで下さい。

残暑厳しい折、檀信徒の皆様には、どうか自愛下さい。

編集委員 杉山三千雄

稲川 清

